

坂下高校
賢・剛・優

さかしは 咲明日高校マルシェ

11月3日(金・祝)、『第2回咲明日高校マルシェ』を開催しました。生徒の学習の場・地域交流の場・異世代交流の場を目的として、また地域に開かれた学校を目指し取り組んできました。昨年よりも開催時間を延長し、会場を体育館周りにも広げ、60をも超える地域の出展者の方々に参加していただきました。当日は天候にも恵まれ、1,400人以上の方々に来場していただき、人々の歓声や、音楽が奏でられる中、盛大なマルシェを行うことができました。今回のマルシェで得たことを今後の地域との連携活動に活かしていきたいと思っております。



坂下中学校
超升先輩

道 程 披 露

道程披露は、中学校生活において、強い願いをもち、新しい自分へと一歩踏み出した生徒が、どんなことを努力したのか、どうして頑張ることができたのか、どんな仲間を支えられて今の自分があるのか等、自分の生き様について全校へ伝える発表会です。「小学校の頃は、自分に自信を持つことができず、今のクラスになって仲間呼びかけができるようになりました。そのきっかけは、『仲間の存在』であり、『安心して挑戦できる環境』のおかげである」と、1年生代表の生徒は語りました。一人一人が失敗を恐れず自分へ挑戦し、新たな自分と出会うことができることを強く願っています。



坂下小学校
ひとりだち

ドローン物流
実証事業

11月9日(木)、国土交通省公募のドローンを使った物流実証事業がありました。学年ごとにドローンの編隊が学校の運動場を離陸する様子や、椈の湖オートキャンプ場に着陸して自動配送ロボットが荷物を運ぶ様子を参観しました。また、後半のワークショップでは、高学年の児童が体育館でのデモフライトを見て説明を聞いたり、クラスごとに作った人文字などの空撮を体験したりしました。児童たちは大空高くから舞い降りてくるドローンに歓声をあげたり、空撮の技術に驚いていました。自分たちの生活が、これからどのように変わっていくのか、近い未来を感じる機会になりました。



やさかこども園
かがやく瞳

こども園で初の運動会

10月21日(土)、前日からの雨が朝には上がり、やさかこども園になって初めての運動会を開催することができ、今年は久しぶりに人数制限のない運動会となりました。父母のみでなく、祖父母や兄弟の応援を受けて、子どもたちのやる気も違っていました。この日に向けて取り組んできた練習の成果をたくさんの人に観てもらうことができました。「競技も増えていて楽しかった。」「子どもたちの頑張りに感動しました。」という感想をいただきました。園児たちは運動会楽しかった!と、今でもリレーやリズムをして楽しんでいます。



《 12月の主な行事 》

日曜日	行事名	時間	場所
7	いきいき元気教室	13:30~14:30	坂下公民館
20	行政・人権相談	13:00~15:00	坂下総合事務所第2庁舎
22	定例区長会	13:30~	坂下総合事務所第2庁舎
26	小・中学校2学期終業式		
27	やさか地区農業委員会 農地相談	9:00~ 9:30~	坂下総合事務所
28	官公庁仕事納め		

慶弔のお知らせ

10月11日から11月10日の
坂下総合事務所への届出分

(敬称略)

●ご逝去			
ふるい	かつら	(85歳)	高部1
古井	桂		
すずむら	まきこ	(88歳)	旭町
鈴村	まき子		
はやかわ	きよしげ	(98歳)	赤田
早川	清重		
こばやし	やすえ	(96歳)	大沼町
小林	やす江		
かとう	ちひろ	(74歳)	握
加藤	千博		

編集・発行

中津川市 坂下総合事務所
電話 0573-75-2111
FAX 0573-75-4704
Mail sakashita-office@city.nakatsugawa.lg.jp

ごみの収集日

燃えるごみ	毎週 月・木曜日
燃えないごみ	12月6日(水)
資源・硬質ごみ	12月13日(水)
大型ごみ	12月15日(金)
有害ごみ	12月の収集はありません

人口と世帯数

(令和5年11月1日現在)

人口	4,086人(前月比1人減)
	男1,979人、女2,107人
世帯数	1,663世帯(前月比1世帯減)



ドローン物流実証事業が実施されました

11月9日(木)、花王株式会社によるドローン実験(国土交通省公募の実証事業)が坂下小学校グラウンドから椈の湖オートキャンプ場広場のコースで実施されました。この実験の目的は中山間地域の物流課題に取り組むため、当日は、ドローン3機と自動配送ロボットによる実証実験が行われました。

3機編隊飛行による実証実験は全国初で、坂下小学校グラウンド離陸から椈の湖オートキャンプ場広場まで約5分で到着し、ドローンから自動で自動配送ロボットに荷物を載せ自動配送ロボットが数十メートル先の目的へ無人で荷物を届けました。

1~4年生が坂下小学校で離陸時に、5~6年生が椈の湖オートキャンプ場広場で着陸時に見学し、共に大きな歓声が上がりました。

また、実験後、小学校体育館で高学年児童にワークショップが行われ、ドローンについて学ぶことが出来ました。



2023 芸能祭開催

10月15日(日)、坂下公民館多目的ホールで、「2023坂下芸能祭」が開催されました。

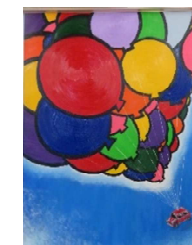
文化協会の出演サークルは9組。1年間練習を重ね、その成果を存分に発揮して、観客の大きな拍手に包まれました。

また、絵画コンクール表彰が行われ、下記の方が入賞されました。(敬称略)

- ・美濃坂下ライオンズクラブ会長賞 吉田 陽菜(坂下高校2年)
- ・中津川北商工会坂下支部長賞 いたいがわあまね 糸魚川天音(やさかこども園)
- ・やさか観光協会会長賞 かめやま 亀山さつき(坂下中学校2年)
- ・坂下郵便局長賞 きたはら 仁瑚(坂下小学校4年)
- ・J Aひがしみの坂下支店長賞 はら 朋希(坂下小学校1年)
- ・坂下公民館長賞 ほり みゆな 堀 心優菜(山口小学校2年)
- ・坂下文化協会会長賞 たかやま 高山 友希(山口小学校6年)
- 井上 富美(一般)



↑花馬保存会 祭り囃子の発表



↑吉田陽菜さんの作品



↑松扇会の発表

11月2日(木)から4日(土)まで「2023坂下文化祭」が開催されました。今年も第1会場の坂下総合体育館の他に、第2会場として坂下総合事務所第2庁舎の3階「桃蔵」と「フォークジャンボリー記念館」も開館しました。

第1会場では文化協会のサークルや子どもたちの作品、一般の方の様々な作品が並び、来場した人を楽しませました。通常予約が必要な第2会場は期間中、自由に入館でき、「坂下町の満州移民についての解説」が行われ、参加者は坂下の歴史認識を深めていました。

2023 文化祭開催



↑小学生の絵画



↑坂下町の満州移民についての解説

令和5年度曾我五郎十郎翁顕彰祭

10月14日(土)、坂下神社境内の頌徳碑前において、区長会(会長 松井伸夫)の主催で翁ご子孫をはじめ、やさか観光協会、まちづくり協議会他、関係者の皆さんが集い、坂下地区に偉大な功績を残された曾我五郎十郎翁の顕彰祭が執り行われました。



「中学生と遊ぼう」4年ぶりに開催

10月26日(木)、坂下中学校視聴覚室で、中学3年生と未就園児親子の交流会が4年ぶりに開催されました。この交流会も10回目となり、第1回の交流会に参加した乳幼児が成長して、今回、中学生側として参加した生徒もいました。

事前に保育の学習で遊びを考えた中学生は緊張しながらも小さな子とふれあい、お母さんともお互いに質問あって交流しました。中学生の合唱披露もあり、参加者は、その歌声に聴き入っていました。

「子どもが楽しめるように考えて優しく接してくれてうれしかった。うちの子もこんなふう成長して欲しい。」と保護者からの感想がありました。



児童版郷土資料が完成

坂下公民館の図書室に子ども用の郷土資料が少ないため、子どもたちが読みやすい資料が欲しいという公民館の依頼を受けて、「坂下の歴史と文化を楽しむ会」のサークルの皆さんが、昨年秋より原稿作りに取り組んでくださっています。

この度、「花馬祭り」「高峰山と曾我五郎十郎」「上井用水と浅倉様」の3冊の冊子が完成して、坂下文化祭でお披露目しました。原稿作りには、稲熊万栄さん、大橋寿美代さん、坂下地区郷土文化財保存会の皆さん、吉村礼子さんにもご協力いただきました。

他にも次々に原稿ができあがっており、この後、順に冊子にしていく予定です。

冊子は、難しい漢字にルビをふり、わかりやすい表現にこだわった文章で、小学校中学年の子でもひとりで読めるようなものになっています。子どもたちにふるさともっと知ってもらい、愛着をもってほしいという会の皆さんの思いがこめられた冊子を、どうぞ活用ください。



↑ 坂下の歴史と文化を楽しむ会の皆さん

(敬称略)

会員名：早川 英雄、原 一己、菅井 護、宮下 邦子、
亀山 春子、吉村 和代、曾我 直子

市の広報に関するアンケートにご協力ください

市では、広報なかつがわ読者・市ホームページ閲覧者の皆さんの声を反映して、さらにわかりやすく、また、知りたい情報を届けるメディアへと改善していくため、アンケートを行なっています。

回答期限 12月31日(日)
お問い合わせ 広報広聴課 (☎66-1111 内線315)

広報なかつがわ・市ホームページへの意見をお聞かせください。数分で回答できます！



郷土文化財紹介

＜百年前の輸送機関 飛騨索道のこと3＞

今回は地元に残っている写真から、当時の飛騨索道をたどってみます。現在、坂下駅東のJA坂下支店入口横に引き込み線があります。JAと元横平写真館のあたりが索道の駅だったようです。ここで列車と索道との貨物の積替えをしていた様です。防火水槽の所にワイヤーロープの弛みを調整する錘(おもり)の穴があったと聞いています。

②の写真は坂川鉄道を写したのですが、左上に櫓(やぐら)と荷物、その下には荷物が落下した場合に鉄道を保護する柵が見えます。櫓の建っている場所は軌道敷より一段高いところで、現在は個人住宅になっています。

この写真から、右へ走る索道の次の櫓はかつての水源地上鐘住宅の北部にあったと推測できます。本稿その1の経路図には上鐘に○印があります。これは索道の経路を変えるために、何らかの施設があったものと考えられます。索道の経路はアップダウンがあっても良いが、一直線で無いとロープが櫓(プーリー)から外れてしまうので真っ直ぐに架設してあります。

佐々木国翁さん『あすごう』の飛騨索道の地図によると、松源地から島井田までの間に11基の櫓があった様です。この中で原清さん宅前の田にあった櫓が坂川鉄道の写真③に写っています。現地を訪ねると高台の先端近くの古い墓石の並ぶ直ぐ側で、コンクリートの基礎と見られる遺構を確認しました。そこにお住まいの原さゆりさんは「どうしてこんな所に壊れたコンクリートがあるのか不思議に思っていたが、写真を見て分かった」と話されました。分かりにくいですが中央奥にも、もう1基島井田の櫓もあります。④の写真は大門と島井田の間と思われる坂川鉄道の写真です。軌道の上に長い防護柵が建っています。この辺りでは索道と軌道が斜めに交差していたため柵が長くなったのでしょうか。島井田の先で川上村に入り、川上川を越えて「五木の館」の西を通り、上河原の中継所へと繋がっていました。中継所跡は、写真⑤のように現在個人住宅になっています。外周にはコンクリートの擁壁や煉瓦積み、石垣が当時のまま残っています。地下にはコンクリートの床面も埋まっているそうです。

郷土文化財保存会会員
たぐち のりいち
田口 憲一



↑ 始発駅の辺り ①



↑ 松源地の櫓 ②



↑ 原清さん宅前の櫓 ③



↑ 坂川鉄道上に架かる長い防護柵 ④



↑ 川上、上河原の中継所跡 ⑤

毎月第3日曜日は「家庭の日」 中津川市青少年健全育成推進市民会議
12月17日 ・おうちのしごとは みんなで やろう